

校長室から

ひがしなら通心

(R元年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 32

令和元年9月13日(金)発行

敬老の日に...

9月の第3月曜日は「敬老の日」です。

これは、永年にわたり社会に尽くしてくださっているご高齢の方を敬うとともに、長寿をお祝いするための日です。今年も9月16日(月・祝日)ですが、前日の15日(日)には、本校体育館で地区の敬老会・金婚祝賀会が行われます。

私にもおばあちゃんが一人だけいました。

母方のおばあちゃんです。母方のおじいちゃんは戦争で亡くなっており、父方のおじいちゃん、おばあちゃんも亡くなっていませんでした。だから唯一のおばあちゃんでした。おばあちゃんは九州の鹿児島県に住んでいて、幼い頃会いに行ったとき、おしゃべりしていると「せからしかあ...」「いらんこつすんな」などの鹿児島弁が飛び出し、何を言っているのかわからないときもありました。でも、子ども心にもはっきりとわかっていたことは、おばあちゃんは先生のことをとても可愛がってくれたということです。そんなおばあちゃんは、先生が中学生のとき病気で亡くなりました。とても悲しかったことを覚えています。

みなさんにもおじいちゃんやおばあちゃんいますか？ 近くに住んでいる人もいれば、遠くにいたり、もう亡くなっておられたりして、会えない人もいるかもしれません。でも、「敬老の日」には、ぜひ、おじいちゃん、おばあちゃんのことを思い出してほしいです。おじいちゃん、おばあちゃんは、みなさんの何倍も長く生きてきて、いろいろな経験をされています。みなさんの知らないこともたくさん知っておられます。そして、みなさんのことをとても大切に思ってくれています。大変ありがたいことです。自分のおじいちゃん、おばあちゃん、そして近所でもいつもみなさんを見守ってくれている方々にも、「敬老の日」には言葉にして、「いつもありがとうございます」と伝えてください。きっと喜ばれますよ。



本を読む楽しさやおもしろさ

夏休みに、読書感想文を書いた人も多いでしょう。ゲームやテレビが楽しくて、本を読むのは面倒であるという人もいるでしょうね。では、本を読む楽しさやおもしろさは、どんなところにあるのでしょうか。

一つめには、本を読むことで知らなかったことを知ることができます。多くの知識に触れることができるのです。

二つめには、日常生活ではありえないようなすばらしい体験をすることができます。ファンタジーな物語を読むと、恐竜の世界や昆虫の世界などに飛び込むことができます。またミクロの世界など、実際には決して体験できない世界も体験できます。

三つめには、物語の登場人物や伝記で紹介されている偉人の生き方などが、これからの自分の生き方の参考になります。

四つめには、科学読み物や図鑑などを書いた筆者の考え方を追って体験することが可能になります。

このように、本に出会い、本を読むことで、多くの楽しさやおもしろさを味わうことができます。これは、人間だけに与えられた特権でもあります。みなさんが本を好きになってくれるように、図書館の近崎先生も工夫をしてくれています。これから来る秋は、「読書の秋」とも言います。みなさんがたくさんの本に出会うことを期待しています。



みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール27 バスに乗ったら、おとなしく座ってしよう

座席に座ったら、前を向いてしよう。後ろの人と話したり、窓から顔を出したり、席を立ったりしてはいけない。

●バスの中ではしゃいで大さわぎすると、運転している人の気が散って、ひじょうに危険だ。運転している人の気を散らすようなことをしてはいけない。降りるときはかならず、運転してくれた人に「ありがとうございました」とお礼を言おう。